



2015年  
9月3日(木)～8日(火) 11:00-19:00 (最終日は16:00まで)

※ 画像・イラスト等の保存・無断使用・転載・二次利用は禁止します ※



今回の展覧会は、河内正孝さんによる陶芸の個展です。

河内さんはこれまでシルクロードをテーマに制作を続けられ、その独自の世界観でユーモラスな魅力あふれる作品を生み出してこられました。

今回会場には、神話に登場するような神々や様々な動物をモチーフにしたオブジェ作品、古代ローマやギリシャでワインを保管・運搬するために使われた「アンフォラ」という陶器に古代の神々をあてめた陶板作品、迫力ある大皿や壺などの作品から、普段の生活の中で映えるお皿やコップなどの食器、照明や時計、花器などのたくさんのもが並びました。

どれもアイデアに富んだ面白い構造をしている上に、釉薬の色や模様になくさんのバリエーションがあるので見ていても楽しく、どんな風に使おうか、どこに飾ろうかと考えてしまいます。

色々な作品が並ぶ中でも、今回は特に魚のモチーフのものが多く見られました。河内さんによると、ひとつのモチーフを使ってどれだけたくさんのもを制作できるか挑戦されたそうで、そんなところにも制作に対する好奇心が感じられます。

この魚のモチーフは、昔朝鮮でお菓子の型として使われていたものを利用して作られたもので、河内さんの作品ではこうした世界のいたるところで使われていた模様が作品の表情として生き生き、魅力の1つになっています。

尽きない創作への探求心と、独自の世界観で見る人を楽しませてくれる河内さんの作品の世界。次回もどんな作品に出会えるのか非常に楽しみです。